

中小
企業

ぐんま

VOL.778
2026.

8

- ▶ 県内中小企業（製造業）景況動向調査結果
- ▶ 暑中見舞名刺広告
- ▶ 2026年版中小企業白書・小規模企業白書



イベント出店や災害協定締結を通じて元気を届ける〈群馬キッチンカー協同組合〉



群馬県中小企業団体中央会

- 若手社員リフレッシュ研修
10月7日（水）
前橋商工会議所会館
- 中堅リーダー研修
10月15日（木）・16日（金）
群馬県勤労福祉センター
- 職種別スキル向上研修
（営業担当者対象）
11月9日（月）
前橋商工会議所会館
- 第78回中小企業団体全国大会
11月19日（木）
熊本県熊本市
熊本城ホール

中央会FLASH	2
・職員を対象にA I活用研修を開催	
LAN Local Area News	3
・群馬県食肉事業（協）連合会	
・全国中小企業青年中央会	
・桐生管工事（協）	
特集Ⅰ 県内中小企業（製造業）景況動向調査結果	4
特集Ⅱ 暑中見舞名刺広告	6
TOPICS	11
・取引Gメンの訪問調査	
情報連絡員だより	12
TOPICS	14
・2026年版中小企業白書・小規模企業白書	
インフォメーション	16

めいど in 群馬 〈表紙の写真〉

～ イベント出店や災害協定締結を 通じて元気を届ける ～

地域のお祭りや大小さまざまなイベントにおいて、その姿はすっかりおなじみとなったキッチンカー。こうしたイベント企画者とキッチンカー事業者との架け橋になっているのが「群馬キッチンカー協同組合」だ。同組合には現在、50台のキッチンカーが所属しており、企業や団体からの多様なニーズに応える出店手配などを行っている。

また、キッチンカーは単なる「移動する飲食店」にとどまらない。災害時などには、電気・ガス・水道などの既存ライフラインが寸断された場所でも即座に駆け付け、温かい食事を提供できるライフラインとしての機能も兼ね備えている。

「有事に備える団体でありたい」と強いまなざしで語るのは、齋藤次郎理事長。組合は昨年4月に高崎市と「災害時等における炊き出しの実施等に関する協定」を締結した。きっかけは能登半島地震。当時、齋藤理事長は被災者支援のため能登地域へ駆けつけようと試みたものの、一般車両の交通規制や各種法制度上の制約に阻まれ、事業者単独の活動に限界を感じたという。この経験から「組合が一丸となって行政との連携を強化することにより、より迅速で実効性のある支援体制を構築したい」との強い思いを抱き、高崎市との協定締結につながった。

イベントにキッチンカーという彩りを添える役割とともに、有事にはライフラインとなって地域を支える同組合。キッチンカーの手配などに関する相談は、組合ホームページの問い合わせフォームより随時受け付けている。

群馬キッチンカー（協）
高崎市飯塚町1826番地20

組合ホームページ



高崎市と締結した災害時等における協定書